

19 ヨタカ

(ヨタカ目)

Caprimulgus jotaka

兵庫県ランク: A

繁殖個体群:A 越冬個体群:無 通過個体群:A

環境省ランク: NT

種の概要

ヒマラヤからシベリア南東部、中国、朝鮮半島、日本、インドシナ半島、マレー半島などで繁殖する。北方のものは繁殖後は熱帯アジアに渡り、越冬する。日本には春に渡来し、北海道、本州、四国、九州で繁殖する。山麓から山地の疎林や林縁に生息し、夜間、飛翔中の昆虫類を捕食する。巣らしいものは作らず、地上に産卵する。



写真提供：大隈登

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、草垣群島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、尖閣諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★宝塚市、★川西市、★三田市、★丹波篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、★淡路市、宍粟市、★加東市、たつの市、猪名川町、多可町、★稲美町、★神河町、★佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 環息 境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○			○	○	○	○	

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-11月に生息し繁殖する。かつては県内各地の山麓から山地で、暮れの頃から早朝まで鳴きつづける声がよく聞かれていた。近年極端に減少した。

保護上の留意点

草原や灌木が隣接する落葉広葉樹や針葉樹の森林の保全が重要。